



TITLE:

京大広報 号外

AUTHOR(S):

京都大学渉外部広報・社会連携推進室

---

CITATION:

京都大学渉外部広報・社会連携推進室. 京大広報 号外. 京大広報 2013, 1304s: 3881-3888

ISSUE DATE:

2013-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/196387>

RIGHT:



# 京大広報

号外

2013.4

## 目次

### 〈卒業式・大学院学位授与式〉

卒業式における総長のことば……………3882

大学院学位授与式における総長のことば……………3885

### 〈大学の動き〉

平成24年度卒業式……………3887

平成24年度大学院学位授与式……………3888



平成24年度 卒業式

京都大学渉外部広報・社会連携推進室

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

## 卒業式・大学院学位授与式

## 卒業式における総長のことば

平成25年 3月26日

総長 松 本 紘

いず ところ しゅんぶう べつり な  
何れの処か春風 別離無からん

唐詩選にもとられた薛業の漢詩の一節です。春は別れの季節です。

本日、ご来賓の沢田敏男元総長、長尾 真元総長、尾池和夫前総長、名誉教授、列席の理事、副学長、学部長、部局長をはじめとする教職員一同とともに、2,826名の皆さんに学士の学位を授与する運びとなりました。学士課程を無事修了され、学位を得られたことに深く敬意を表するとともに、篤くお慶びを申し上げます。併せて、今日の卒業式を迎えるまでご家族ならびに関係者の皆様よりいただいた数々の厚いご支援に対し、大学として御礼申し上げます。116年にわたる京都大学の歴史において、皆さんを含めた本学の卒業生の累計は194,001名となりました。

現在、社会は京都大学卒業生の皆さんに大いに期待しています。その背景には日本社会の置かれている状況の変化があります。ここ十数年くらいの傾向として、国際社会における我が国の地位の凋落<sup>ちようらく</sup>が様々な点で指摘されてきました。

企業は市場のグローバル化に對峙し、グローバルな社会の中でどう生き抜くかということを真剣に考えており、自衛手段の一つとして、従来以上に人材に活路を求めています。そのため一部には、諸外国からの採用も増えてきています。その中で日本人、特に京都大学の卒業生がこれから活躍していこうと思えば、より一層の専門性と幅広い教養、あるいはその人格そのものが問われることとなります。京都大学で学ばれた皆さんは学士という形で一種の保証書を授与されたわけですが、今後ともさらに精進を続けないとやがて時代に取り残されていくことになります。

変化は悪いことばかりではありません。英国放送



協会（BBC）が読売新聞等と実施した「世界に良い影響／悪い影響を与えている国」を調べる世界世論調査の結果が昨年の5月に公表されました。世界22ヶ国で調査が行われ、対象となる17の国と地域について「世界に良い影響を与えているか」、それとも「世界に悪い影響を与えているか」が尋ねられました。結果として、世界に良い影響を与える国として、日本が1位となりました。これには東日本大震災後の日本人の絆を合言葉にした様々な助け合い、共生の姿が広く世界に報じられたことが大きかったのではないかと思います。

その一例として、東日本大震災の後、約5,700個の金庫が警察署に届けられ、中の現金23億円の多くが持ち主に返されたことに欧米が驚いているという報道がありました。我が国には似たような話が沢山あります。私自身も京都での国際会議に出席したニュージーランドの研究者の知人に「財布を落とした」と国立京都国際会館で泣きつかれたことがあります。途方に暮れている彼の前で「ジタバタしなさんな、必ず出て来る」といっても、「現金が入っているからそんなことはありえない」と彼の顔は晴れません。確かに、財布にはクレジットカード、免許証などの大切なものが入っており、大変困った状況でした。私は日本という国や日本人を心の中で信じながら、慰めの言葉をいうことしかできず、「何か力になれることがあれば、お手伝いします」と言って別れました。そのあと、すぐに彼から電話がかかってきました。「いやあ、ホテルに帰ったらちゃんと届いていました」。彼は世界中どこを探してもこんな



国はないと大変感心していました。これは、かれこれ30年ほど前の話です。

今度震災後に同じようなことが各地で繰り返されたわけです。そのことに世界は驚きました。そして、日本と日本人を見直したわけです。このことに我々ももっと胸を張ってもいいのではないのでしょうか。

これから、大学院進学の皆さんは、専門ごとに分かれてさらに学術に磨きをかけていくことになります。かの夏目漱石も指摘しているように、専門性の深化に伴ってややもすると視野狭窄に陥りがちとなるので、そうならないための格別の努力が重要となってきます。

一方、社会に羽ばたく皆さんは、職場では社会の様々な問題とこれから日々格闘していかねばなりません。いずれの道に進むにせよ、これから歩む長い人生において、大学生活において身につけた知識や体験ではまだまだ十分とはいえず、途方に暮れるような試練に数多く直面することでしょう。そこで私からこれからを生き抜く皆さんに「シガク」をおすすめしたいと思います。

皆さんは京都大学において一定の学力を身につけたと思います。しかし、これからも皆さんには学ぶことを絶え間なく続けてほしいと思います。多種多様な本を読み、自分の専門分野の周辺分野も含め、広い分野の知識を貪欲に吸収されることをおすすめ



します。これならただの「学びのガク」のすすめですが、皆さんには学問の力の学力と同じぐらい重要な第二から第四までの他の三つのガクを鍛えてほしいと思います。

二つ目のガクは額<sup>ひたい</sup>、つまり額の後ろにある前頭葉、すなわち、額<sup>ひたい</sup>の「額力<sup>がくりよく</sup>」です。創意工夫や思い遣りをつかさどるのが前頭葉と言われています。気持ち<sup>おもんぼか</sup>を慮る、つまりどういうことがまわりの人々に起こっているか、どういうことが自分の周辺の社会で起こっているかをイメージ豊かに思いを馳せる力が額力<sup>ひたいりよく</sup>、つまり「額力」です。今のような複雑な社会でリーダーとして活躍するには、知識だけでなく一種の知恵にあたるこの「額力」を鍛えないと、ひとりよがりとなり、周りの人とともにことを成すことは難しいでしょう。

三つ目のガクは、コミュニケーションを生み出す顎<sup>あご</sup>の力の「顎力<sup>がくりよく</sup>」です。これは雄弁のすすめではありません。雄弁でなくても、誠心誠意、真剣に意見を



交換し合う力です。京都大学が「自学自習」の教育理念とともに大切にしてきた、「闊達な対話」の意義がここにあるといえます。相手の立場も理解しながらも、自分の主張はきっちりと論理立てて言えることこそが重要です。それに加えて、健康を維持しながら、立派な人間として活躍していくためには、食べる力、つまり良く噛む力も必要です。顎<sup>あご</sup>の力である「顎力」はそれにも関係します。昔から腹が減っては、戦はできぬなどといいます。食べられないことは大変なことです。食べられる人は何も感じませんが、嚥下力が低下したり、十分噛みしめられなくなってくると、まともなアイデアは生まれません。

最後のガクは、楽しむ力の「楽力」です。これから社会に出れば、色々な苦難が待ち受けていると思いますが、しかしどんな仕事でも、それを楽しいと思うか苦しいと思うか、イヤと思うかそうでないかによって大きく結果が違います。それゆえ、楽しめる力も鍛えておかねばなりません。学ぶ学力、思いやりと創造力のための額力、対話と健康のための顎力、楽しめる楽力、その四つの「ガクリョク」を鍛えることを忘れないようにというのが私からのシガクのすすめです。

本日の卒業式で一つの区切りをつけ、新しいス

ターラインに立つ皆さんを、京都大学はこれからも応援していきます。卒業する皆さん、ときには母校を訪ね、語らい、また同窓会活動の場として、また生涯の学習の場として京都大学を人生の基軸として積極的に活用していただけるようお願いしています。

卒業して、社会で活躍される皆さんには、様々な場所で、京都大学で身につけた自学自習の精神を活かして活躍されることと思いますが、一方で母校である京都大学で研究教育を続ける友人の応援もぜひお願いします。また、修士課程に進学され、大学院で研究を続ける人も多いと思いますが、私は京都大学が優秀な人材を活かせる、世界に伍していける大学であるように、学内外で必要となる改革を進めていきたいと考えています。

最後に、今後も絶えず自らを省みて、学業を積み、身体を鍛え、こころを磨き、人の痛みや社会の問題を敏感に感じとり、闊達な対話を大切にし、人生を楽しめる四つの「ガクリョク」を備えた粘り強い人としてご活躍されることを願い、学士の学位を授与された皆さんへの私の饒<sup>はなむけ</sup>の言葉といたします。

本日は誠にありがとうございます。





## 大学院学位授与式における総長のことば

平成25年3月25日

総長 松 本 紘

本日、京都大学から修士の学位を授与される2,104名の皆さん、修士(専門職)の学位を授与される145名の皆さん、法務博士(専門職)の学位を授与される160名の皆さん、博士の学位を授与される622名の皆さん、誠におめでとうございます。

学位を授与される皆さんの中には、738名の女性と305名の留学生が含まれています。累計すると、京都大学が授与した修士号は67,773、修士号(専門職)は916、法務博士号(専門職)は1,419、博士号は40,171となります。ご来賓の沢田敏男元総長、名誉教授、列席の副学長、研究科長、学舎長、教育部長、研究所長をはじめとする教職員一同とともに、皆さんの学位取得を心よりお祝い申し上げます。

この会場には、学位を授与される皆さんのご家族、ご友人、関係者の皆様が多数お集まりのことでしょう。学位を授かる皆さんは、これらの方々からの長年にわたる支援に対して感謝の気持ちを伝える

ように希望します。私たち教職員一同も、ここに至るまでの皆様方の様々なご苦勞やご支援に対して御礼を申し上げ、今日の喜びを分かち合わせていただきたいと思います。

さて、皆さんがここに至る道程は、幾度も挫折しそうなような厳しい研鑽の日々であったかと思います。皆さんはそれらを乗り越え、大学院において専門を修め、その専門において自樹自立できる力を、本日、京都大学学位の授与という形で認められました。これからは何ものにも臆することなく、授けられた学位を誇りとし、身につけた専門を生かして、そのうえで自らの豊かな個性を発揮し、人類が直面する多岐にわたる困難な問題に果敢に挑戦し、それらの問題の解決に社会のリーダーとして大きな貢献をしていかれることを大いに期待しています。

修士の学位、修士(専門職)、法務博士(専門職)の学位を授与された皆さんはそれまでの課程に比べて比較的狭い領域に限定されてはいるかもしれませんが、より深い専門知識を身に付けられたと思います。近年、専門を一層深め、学んだ知識を体系的かつ柔軟に活用できる力を秘めた皆さんに対し、社会の期待は非常に大きくなっています。また、修士課程を



このたび終えて、博士課程に進学される皆さんは、小成に安んずることなく、今後ますます研鑽を積んで学術の世界でさらに大輪の花を咲かせていただきたいと思います。

博士の学位を授与された皆さんには、専門をさらに深く穿ち、自分でなければ成し得なかった独創的な仕事を成し遂げたという誇りと自信がこれからの人生の貴重な財産となることでしょう。しかし、それだけでは社会でなかなか通用しない時代になってきています。研究職のポストもそう多いわけではありません。研究者としての道を歩まなければ、博士は社会に無用なものなのでしょうか。私はそうは思いません。社会が博士に対して期待していることが変わってきているのです。一言でいえば、高度な専門知識だけではなく、先端までたどりついて、新しいものを切り拓いたプロセスとそれを実現させることができた人間力を生かし、社会のリーダーとなることが求められているのです。また、リーダーの自覚を持って、責任をもって人々を指導していくことが期待されています。皆さんは京都大学から博士号を授与されたのですから、研究者としては世界のどこにいても、その分野では十分に通用します。しかし、皆さんは社会からは研究だけを期待されているのではないことを肝に銘じておいてほしいと思います。さらに付け加えておくと、夏目漱石に「道楽と職業」という講演録があります。そこで漱石は、「あなたがたは博士というと諸事万端 人間一切 天地宇宙のことを皆知って居るように思うかもしれないがまったくその反対で、(中略)博士の研究の多くは針の先で井戸を掘るような仕事をするのです。(中略)深いことは深いが、いかんせん面積が非常に狭い。」と言っています。一方、アメリカで博士号に当たるのは Ph.D. です。これは Doctor of Philosophy の略であり、直訳すれば哲学博士ということになります。海外では、Ph.D. を持った政治家、官僚、経営者にしばしば出会います。このことはやがて日本社会でも起こることさきがけの魁ではないかと思います。社会は常にリーダーを必要としていますから、皆さんはさらに一層高みを目指して、人々の為に働くリー



ダーになるべく今後一層精進を重ねていただきたいと思います。

昨年から、京都大学では「ジョン万プログラム」というものを始めました。ジョン万プログラムは、本学の次世代を担う若手人材を対象に、海外経験等の機会を支援し、国際的な活動を奨励・促進することを目的とする全学的プログラムです。幕末の世、土佐の中浜村に生まれたジョン万次郎こと中浜万次郎は14歳の時、足摺岬でのアジ、サバ漁中に漂流、南海の孤島に漂着、アメリカの捕鯨船に救助され、やがて船長にその才能を認められ、船長の故郷マサチューセッツ州フェアヘーブンで英語、数学、測量、航海術、造船技術などを学びました。やがて日本に帰国し、それらの貴重な知識、技術や体験は幕末から明治にかけての日本の開国に多大なる影響を与えました。彼は意図してアメリカに渡ったわけではありませんが、自己の才覚をもとに場所場所でうまく適応していきました。さらに危険を冒しながらも鎖国時代の日本に帰国し、優れた語学能力と当時の日本人が持っていなかった高度な知識により、重用されました。そして、42歳のとき明治政府の命を受け、後の東京大学となる開成学校の教授にも就任しました。ジョン万次郎はそういう風に常に死中に活を求め、自分の道を切り拓いた人なのです。いま我々が目を向けるべきは地球全体に住んでいる人類全体です。その中でひとりの日本人としてのきょうじ矜持を持ち、個性

を活かして、是非ともジョン万次郎のように自分の運命を切り拓いていていただきたいと思います。

さて、皆さんのこれから歩む人生において一層の知識や経験が必要となる時がやってくるかもしれません。その際には、皆さんが学んだこの京都大学を思い出し、基本に立ち戻ってください。それは純粹に知を求めるということです。異分野、異文化、あるいは自分とは全く異なる専門家とできるだけ接し、分からないことを素直に恥じずに質問をし、自分の糧として吸収することです。ご存じの方も多いと思いますが、『論語』の為政篇に、「之を知るを之を知ると為し、知らざるを知らずと為す。是れ知るなり。（知之為知之，不知為不知，是知也）」という言葉があります。分かっていることと分かっていないことを明確にすることで、予想もしなかった角度から光がさし、新たな可能性を見つけ出すことができるでしょう。また、大学を思い出すだけでなく、折に触れ母校を訪れてください。皆さんと京都大学との縁は、同窓会や生涯の学びを通じてこれからも続きます。京都大学は皆さん一人一人の人生の基軸にな

りたいと思います。

国家の危機的な財政状況や国難ともいえる大震災の下、本学も改革待ったなしの状況に立たされています。京都大学は今後一層努力を重ね、常に物事の根源を見つめ、根源を解き明かそうとする大学、基本すなわち本を務める大学として世界一をめざしたいと思っています。皆さんにおいても、母校を温かく見守り、ご支援いただきますようお願いいたします。

最後に『孟子』の中に「自ら<sup>かえ</sup>りみて<sup>なお</sup>縮くんば、千万人と雖も吾往かん」という孔子の言葉があります。自分でかえりみて自分が正しいと確信できたら、たとえ相手が千万人の大勢あっても私は恐れずに進んでゆくであろうという意味です。この姿勢こそが本当の大勇であると述べています。本日学位を手に入れました3,031名の皆さんにもこのような大勇を持って世界のリーダーとして道を拓いていかれることを願って、私の<sup>はなむけ</sup>の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

## 大学の動き

### 平成24年度卒業式

3月26日(火)午前10時から京都市勤業館みやこめっせにおいて沢田敏男元総長、長尾 真元総長、尾池和夫前総長、名誉教授をはじめ、各副学長、各部局長等の出席のもとに平成24年度卒業式が挙行された。学歌斉唱に引き続き、松本 紘総長が各学部代表に学位記を授与した。

続いて総長の式辞があり、最後に全員で「蛍の光」を合唱して、午前10時41分に終了した。

新学士の人数および内訳は右のとおりである。

#### 学士

学位名	学位授与者数
学士(総合人間学)	120
学士(文学)	212
学士(教育学)	73
学士(法学)	302
学士(経済学)	258
学士(理学)	314
学士(医学)	101
学士(人間健康科学)	134
学士(薬学)	30
学士(薬科学)	54
学士(工学)	928
学士(農学)	300
合 計	2,826

(学務部)



## 平成24年度大学院学位授与式

3月25日(月)午後2時から、京都市勧業館みやこめっせにおいて沢田敏男元総長、名誉教授をはじめ各副学長、各部局長等の出席のもとに平成24年度大学院学位授与式が挙行された。

松本 紘総長が修士、修士(専門職)、法務博士(専

門職)、課程博士、論文博士の学位名に付記する各専攻分野の代表者に学位記を授与した。その後、総長の式辞があり、午後3時10分に終了した。

各学位授与者数の人数と内訳は次のとおりである。

### 修士

学位名	学位授与者数
修士(文学)	105
修士(教育学)	35
修士(法学)	11
修士(経済学)	37
修士(理学)	263
修士(医科学)	24
修士(人間健康科学)	44
修士(薬科学)	52
修士(工学)	682
修士(農学)	277
修士(人間・環境学)	152
修士(エネルギー科学)	133
修士(地域研究)	15
修士(情報学)	166
修士(生命科学)	67
修士(地球環境学)	41
合 計	2,104

### 修士(専門職)

学位名	学位授与者数
社会健康医学修士(専門職)	28
公共政策修士(専門職)	38
経営学修士(専門職)	79
合 計	145

### 法務博士(専門職)

学位名	学位授与者数
法務博士(専門職)	160

### 博士

学位名	学位授与者数								
	平成24年11月26日付け			平成25年1月23日付け			平成25年3月25日付け		
	課程博士	論文博士	計	課程博士	論文博士	計	課程博士	論文博士	計
博士(文学)	11	5	16	1	3	4	17	10	27
博士(教育学)	1		1	1		1	13		13
博士(法学)							9	1	10
博士(経済学)					1	1	15	2	17
博士(理学)	2	1	3	1	1	2	70	2	72
博士(医学)	11	1	12	8	2	10	65	4	69
博士(医科学)							8		8
博士(社会健康医学)	1		1	1	1	2	3		3
博士(人間健康科学)							5		5
博士(薬学)							25		25
博士(薬科学)							7		7
博士(工学)	7	2	9	4		4	99	9	108
博士(農学)	3	1	4	4	1	5	44	11	55
博士(人間・環境学)	3		3				36		36
博士(エネルギー科学)	1		1	1		1	6		6
博士(地域研究)	1	1	2				16	1	17
博士(情報学)	2		2	1		1	23	1	24
博士(生命科学)	3		3				21		21
博士(地球環境学)							11		11
合 計	46	11	57	22	9	31	493	41	534

(学務部)